

2016 年度
事業報告書

(事業期間：2016年4月1日～2017年3月31日)

1. 全体報告

①他団体・ネットワークとの連携による成果

今年度は団体規約や活動理念・方針がようやく完成したこともあり、兼ねてから計画していた福岡 NGO ネットワークへの加盟を実現することができた。

これにより長崎にとどまらず九州の NGO と繋がることができ、先輩 NGO を手本に活動していくことが可能になった。

今後の可能性として、加盟団体との交流だけでなく、各 NGO が主催するスタディーツアーを長崎で紹介し、講演会などを長崎に招致し開催できるようになれば、長崎にいながら多くの情報や現場に触れる機会が増えることが期待される。

また、長崎県内の団体とも連携・協力することができたのも大きな成果である。

1つは、【ながさき愛の映画祭】である。

性的マイノリティへのサポートや啓発活動に取り組む「Take it 虹」（長崎市、代表：儀間）が、これまで関心のなかった層へのアプローチの為に「ながさき・愛の映画祭」を企画。その過程で、新たな個人や団体との交流ができ、関連イベント及び市民活動のプラットフォーム機能により 366 名が参加した。

NETSEP では、「FUJITA COFFEE brothers」と連携しフェアトレードカフェおよびフェアトレード商品の販売を行った。

映画祭の詳細・報告については、特別報告で述べる。

もう 1 つは、長与町交際交流協会主催の【ロシナンテス川原氏の講演会】である。

ロシナンテスは、アフリカの南スーダンで医療活動を展開している国際協力 NGO である。代表で医師でもある川原氏をお招きして、長与町で講演会を開催。

NESTEP では企画・運営に携わり、ロシナンテスをはじめ長与町国際交流協会、参加された高校生とのつながりもでき、幅広い団体と協力・連携できた事は NESTEP にとっても大きな経験となった。

講演会の詳細・報告については、特別報告で述べる。

②初めてのインターンシップの学生を受け入れる

今回初めて、インターンシップの学生を受け入れることになった。

名桜大学の学生からの要望で、インターンシップの受け入れ準備をし、名桜大学との「現地実習に関する協定書」を締結。約 2 週間（活動 7 日間）事務局にて活動を行った。

今回、初の受け入れで、不明な点も多く、参加する学生にとって提供できるものや活動の少なさもあったが、インターンシップの受け入れ方や協定締結までの流れ等を確認できたことから、今後継続的にインターンシップを受け入れる際の重要な経験となった。

インターンシップの詳細・報告については、特別報告で述べる。

2. 組織運営（管理部報告）

1) 会議

6月19日に運営委員会を開催した。議題は以下の通り。

- ①設立経緯説明
- ②活動理念（Mission）協議・承認
- ③行動指針 協議・承認
- ④団体規約 協議・承認
- ⑤団体概要 協議・承認
- ⑥各種プロジェクト 協議・承認
- ⑦各種規程 協議・承認
- ⑧各種方針 協議・承認
- ⑨人事・組織 協議・承認
- ⑩2016年度 事業計画 承認
- ⑪2016年度 予算案 承認
- ⑫2015年度 事業報告 承認
- ⑬2015年度 会計報告 承認

2) ネットワーク関連

7月末に NGO 福岡ネットワーク（以下、FUNN）への加盟を申請。後日、ヒアリングを経て加盟が承認された。ヒアリングでは、FUNN の理事や事務局スタッフに対し、団体概要や活動理念、各プロジェクト、加盟理由を説明した。

今回の FUNN 加盟の理由として、

①ネットワーク・コミュニティの推進・形成を活動の柱としている

当団体の行動指針や事業内容には、ネットワーク・コミュニティ形成・推進が盛り込まれており、様々なコミュニティ

- ①学生団体・学生・若者との協働
- ②社会（自治体・民間企業・教育機関）との連携
- ③他の国際協力団体（NGO、NPO、民間団体）との協力

による多様なネットワークを活かした活動を行い、「地域内循環」「地域間ネットワーク」「国境を越えた活動」を形成することを目指している。そのなかでも③の「他の国際協力団体との協力」そして、「地域間ネットワーク」の形成が期待できる。

②若手 NGO として

2013年設立の当団体は、経験の浅い若手が中心のため、FUNN に加盟することで、これまで長きにわたって活動して来られた先輩 NGO と繋がり、手本とすることで活動を活性化することが期待できる。

以上の理由から FUNN への加盟を申請した。

加盟後、団体登録を行い、FUNN が発行している機関紙への寄稿、FUNN 主催の交流会 FUNN 倶楽部での講演・団体紹介をおこなった。

また、3月には FUNN のスタッフが NESTEP を訪問。情報共有や意見交換を行った。

今後も FUNN を通して他の国際協力団体との協力をしていきたい。

3) 広報・メディア

2017年2月27日付の長崎新聞朝刊「あのひとこのひと」の欄に、代表のインタビューが掲載された。

原料や製品を通正な価格で売買することで発展途上国の生産者らの経済的自立を支援する「フェアトレード」の商品を、九州内のイベントで販売する非政府組織（NGO）「NESTEP（ネステップ）」の代表。長崎のような「ローカル」で、グローバルな取り組みをしたい」と熱意を語る。

福岡県出身。長崎の高校進学を機に、本県に移り住んだ。大学時代、タ

フェアトレードで国際協力を呼びかけるNGOの代表 藤田 勇樹さん

あのひとこのひと

買い物で途上国支援を

伊の賀しい地区に共同トイレを作るボランティアに参加したのをきっかけに、発展途上国を支援する活動に興味を持った。

「帰国後も異国文化が豊かな長崎で、できる範囲で力になりたい」と2013年に大学の仲間とNGOを立ち上げた。

「『買う』という身近な行為で国際貢献ができるのがフェアトレードの魅力」と語る。タイやラオスで、現地の人々と離れ合い「どんな人が作ったか、商品の裏側を日本の消費者に伝えたい」。

長崎市西小島2丁目の古民家で暮らす。24歳。
(古瀬小百合)



その他、長崎県国際交流協会 協会誌「なぴあ」にフェアトレードマーケットの様子が掲載されたほか、NGO 福岡ネットワーク機関紙にも団体紹介を寄稿した。

4) 人 材

①現況

年度末時点での会員等の登録数は以下の通り。

- ・ボランティア登録数 1人
- ・会員数 0人

(正会員：0人 賛助会員：0人 ゼミ生会員：1人)

正会員および賛助会員は実質募集を開始できていない。

正会員については「団体規約」内で規定しているが、申込用紙や募集要項が完成していない。
賛助会員については「賛助会員規程」が完成しているが、申込用紙や募集要項が完成していない。

これらの会員に関しては、会費の受領体制が整っていないのも一つの要因である。

団体規約は完成したが、銀行口座の開設に必要な人数が揃っていないため口座が開設できていない。

口座を開設し、安定的に資金を管理するためにもスタッフ（運営委員）を増やすのが課題

②インターシップの受け入れ

今回、学生からの要望により、インターンシップの受け入れが実現した。

< 受け入れまでの流れ >

6月7日 沖縄の名桜大学の学生から

インターンシップを受け入れてほしいとの相談を受け、受け入れ準備を始める。

7月19日 大学から正式にインターンシップの受け入れ依頼

8月15日 名桜大学と「現地実習に関する協定書」を締結

8月30日 約2週間（活動7日間）事務局にて活動を開始

< 業務内容 >

①ワークキャンプの企画・運営

9月に開催予定の『国際協力・ボランティアワークキャンプ』の企画・運営で、インターンの方には学生と一緒にワークキャンプに参加しながら、ワークショップの一つを担当

②広報業務

団体のホームページ、SNSの更新、およびニュースレターへの寄稿

③活動に必要な調査研究活動

市内のフェアトレードショップおよび、学生団体のメンバーへの聞き取り調査を実施。また、新規事業【アジア・フェアトレード大学推進プロジェクト】のため、日本全国のフェアトレード団体の調査

< 成 果 >

当初、インターンシップの受け入れ計画はなく、団体の活動が安定し、業務の量が増えて来たころを想定していたが、学生からの依頼もあり急きよ受け入れることにした。

インターンシップの受け入れ方に関する大学・学生とのやりとりで協定締結などの一連の手続きを把握できたことは大きな成果である。

また、今回は業務内容および活動日数が少ないため、インターンの学生に課題を提供。

「長崎の国際協力の現状」と「長崎らしい国際協力の提案」をテーマにレポートと発表を行ってもらった。

レポートでは、長崎で国際協力に取り組む団体が少なく、県民間でも国際協力に対する理解と参画が必要としながら、長崎らしい国際協力を3つ提案した。

①海外の被爆に対する支援

②平和関連事業（核兵器廃絶運動）

③フェアトレード推進（出島との関連から）

学生の目線から長崎の国際協力について提案をうけ、今後の活動により一層取り組んでいかなければいけない課題も見えてきた。平和関連事業では、高校生平和大使など若い世代の取り組みとの連携も今後は必要になってくるだろう。

< 課題 >

今回、初の受け入れで、不明な点も多く、参加する学生にとって提供できるものや活動の少なさもあったが、学生がインターンをしたくなるような団体づくりも必要だと感じた。客観的に見て「楽しいそうか?」「参加したいか?」その点をもっと意識しながら団体運営・プロモーションを行っていきたい。

5) 人 事

6月19日の運営委員会において、

- ・「共同代表」を廃止
- ・代表＝藤田勇樹（共同代表）、副代表＝古河郷（共同代表）
- ・緊急プロジェクト担当＝陣内誠也（新規加入） とすることを決定。

また、新規スタッフ（運営委員）は「常時募集」することにした。

3. 特別報告

1) 創立3周年記念イベント

団体創立3周年を記念し、これまでお世話になった方への感謝を込めて、またこれからお世話になる方々との懇親の場、まだNESTEPを知らない方へ活動を知ってもらおうと企画

< イベント概要 >

日 時：6月25日（土）15:00～20:00

場 所：Baan Paganyo（長崎市西小島）

◎タイの活動報告会とタイ山岳民族の手工芸品の販売

◎記念パーティーではフェアトレードや長崎の食材を使った料理・飲み物を用意

◎3周年の記念品を用意

告知不足により、参加者が集まらず、天候も悪かったために中止となった。

2) ながさき愛の映画祭

性的マイノリティへのサポートや啓発活動に取り組む「Take it 虹」（長崎市、代表：儀間）が、これまで関心のなかった層へのアプローチの為に「ながさき・愛の映画祭」を開催。NESTEP では、映画祭期間中にフェアトレードの販売とコーヒーの提供を行った。

< イベント概要 >

日 時：10月22日（土）～28日（金）

場 所：長崎セントラル劇場

来場者数：366名

主 催：ながさき・愛の映画祭実行委員会

協 力：ヒューマンライブラリーNagasaki 実行委員会、長崎セントラル劇場

後 援：長崎県

< 成 果 >

代表の藤田が学生時代にフェアトレード活動と一緒にしていた儀間さんからの提案により、映画祭で出店することとなった。9月に実行委員会のミーティングに参加し、準備を進めた。

今回の映画祭のコンセプトには、映画祭の上映だけではなく、様々なジャンルの人や団体が交流できるイベントも開催し、コミュニティの拠点となることを目指すという。

当団体でも、行動指針や事業内容に、ネットワーク・コミュニティ形成・推進が盛り込まれており、特に社会（自治体・民間企業・教育機関）との連携や他の国際協力団体（NGO、NPO、民間団体）との協力による多様なネットワークを活かした活動展開ができた。

今回の映画祭では、性的マイノリティへのサポートや啓発活動に取り組む「Take it 虹」（長崎市、代表：儀間）や、様々な経験や価値観を持って生きる人が「本」として集まり、それらを読む人が「読者」として集まり、対話を通して相互理解を深める活動を行っている「ヒューマンライブラリー Nagasaki 実行委員会」（長崎市、代表：宮崎）などと協力・連携しながら、またこれまで接することのなかった映画祭に訪れる人々との交流で、団体についての認知が広まったのではないだろうか。来年度の開催にも期待したい。

< 課 題 >

ボランティア不足 → ボランティア登録者数を増やす。

映画祭自体は、観客動員数を見る限り成功であったと言えるが、今回の一週間という長期にわたる出店は初めてで、対応できるスタッフに限界があった。

1週間通して代表が会場に立ち、途中2日間は共同出店した FUJITA COFFEE brothers が1名会場に立った。途中ほかの実行委員にお願いして、休憩や買出しに行くことになったが、団体としてボランティア募集をかけたが集まらず、スタッフではないがイベント時にサポートしてくれる人材の確保が今後必要だと考える。

現在、ボランティア登録数は1名と当初から伸びておらず、今後イベントを他方面に展開していくには、ボランティア登録者を増やしていく必要がある。

3) ロシナンテス川原尚行氏 講演会

長与町国際交流協会の国際理解事業の一環として、アフリカ・スーダンで医療活動に従事されている「NPO 法人ロシナンテス」代表の川原尚行氏をお招きして講演会を開催。

NESTEP では実行委員のメンバーとして企画・運営に携わった。

< イベント概要 >

日 時：2016年11月12日（土）13：30～16：00

場 所：長与町老人福祉センター大ホール

来場者数：180名

主 催：長与町国際交流協会

協 力：チャリタブルトレード、国際協力 NGO NESTEP、長崎外国語大学 NEST

後 援：長与町、長与町教育委員会、（公財）長崎県国際交流協会、
独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA 九州）

< 成 果 >

今回の講演会には、代表藤田が在学していた大学の学長の紹介で、長与町国際交流協会から声をかけていただき、実行委員のメンバーとして企画・運営に携わった。

今回の講演会は、長与町国際交流協会の国際理解事業の一環として、アフリカ・スーダンで医療活動に従事されている「NPO 法人ロシナンテス」代表の川原尚行氏をお招きしての講演会で、NESTEP としても注目していた九州の NGO の一つのであった。

映画祭と同様、当団体の行動指針に盛り込まれている、ネットワーク・コミュニティ形成推進という点で、社会（自治体・民間企業・教育機関）との連携や他の国際協力団体（NGO、NPO、民間団体）との協力による活動展開ができたという点では大きな成果となった。

また、講演後に地元の高校生と話す機会があり、国際協力やボランティアに関心のある高校生を対象にした講座やイベントの開催も今後、展開していきたい。

川原先生のお話でもあった「人づくり」と「支援のあり方」は NESTEP の今後の事業展開にとって大変貴重なものとなった。

< 課 題 >

今回の講演会会場にはパネル展示を行った。前回の映画祭の際に作成したものを利用したが、もう少し大きさや見やすさ、情報量を改善して、どの会場・イベントでも使えるように改善する必要がある。

また、団体へのアクセスを促すために SNS の情報だけでなく、幅広い世代に知ってもらうため、やはり団体リーフレットの作成をしなければならない。

4. 各事業の報告

1) NESTEP ゼミ

< プロジェクト概要 >

NESTEP ゼミは単なる授業や講演といった形式的なものではなく、参加者の自主性を促し、参加型の学習（グループワークやワークショップ、ディスカッション）を中心とした国際協力講座

< 実施計画 >

今年度は NESTEP ゼミを拡充し以下のように実施する。

①年 4 回の講座を常設化し各回テーマを設ける

春：春の NESTEP ゼミ 新入生向け（3 回連続講座 昼夜 2 部制）

夏：ワークキャンプ

秋：秋の NESTEP ゼミ キャリア編

冬：冬の NESTEP ゼミ スタディーツアー編

②ゼミ生会員制度創設

ゼミ生会員に登録することで様々な特典を受けることができる会員制度を創設する。

ゼミ生として登録（入会金 500 円）すると NESTEP ゼミへの参加が割引される。

また、定員のある講座では優先的に参加することができる。

※通常は一回 500 円が 100 円で参加可能になる。（ワークキャンプでは 500 円引き）

今年度から参加費を徴収する理由は、秋にゲスト講師を招待したゼミを開催するため。

また、ワークショップ教材の充実を図る為である。

これにより、参加者の満足度を向上させ、参加者数の増加と講座知名度を上げていく。

< 実施報告 >

【春の NESTEP ゼミ：スタートアップ編】は以下のとおり実施した。

①目的

(1) 世界の問題を自分の問題ととらえ、解決のための方法を考え実践する人材を育成する。

(2) 参加者個人が活動目標を設定することでモチベーションを上げ、
団体活動レベルの向上に寄与する。

(3) 「何かしたい！」と考えている参加者同士をつなぐ場を提供する。

(4) 「何かしたい！」と考えている参加者が行動を起こすキッカケを提供する。

②スケジュール

【 ステップ1 世界の問題を知る 】

A 2016年5月15日（日）13:00～14:30

B 2016年5月20日（金）18:00～19:30

ステップ1の講座ではクイズを通して「世界の問題」について学んだ。また、ワークを通して、世界の問題（特に富の不公平）を疑似体験し、原因と解決策を考えた。

【 ステップ2 自分にできることを知る 】

A 2016年5月22日（日）13:00～14:30

B 2016年5月27日（金）18:00～19:30

ステップ2の講座では、国際協力のイメージを解体・再構築することによって、基礎的な国際協力の活動について学んだ。また、第1回で学んだ「世界の問題」に対する解決方法を考えながら、自分にできることを考えた。

【 ステップ3 ワタシ流！国際協力のカタチ！ 】

A 2016年5月29日（日）13:00～14:30

B 2016年5月31日（火）18:00～19:00

ステップ3の講座では、これまでの講座のまとめとして「アクションプラン」を作成し、世界の課題を解決するためにできることをプランにまとめた。

【 特別ステップ 】

(1) フェアトレードくるま座 @Baan Paganyo（長崎市西小島）

No2 2016年5月15日（日）15:00～18:00

No3 2016年5月22日（日）15:00～18:00

No4 2016年5月29日（日）15:00～18:00

(2) 交流会 @長崎駅周辺

2016年5月31日（火）19:30～

< 課題 >

今回の NESTEP ゼミは多くの課題を残した。

計画の段階で、場所と日時の設定をよく吟味しなければならなかった。

今回参加者は全部で3名（ステップ1:1名、ステップ2:2名、ステップ3:0名）

客観的に見て魅力的な講座計画だったか。場所・時間は適切であったか。

こちらで会場を構えてするより、学生の方に出向いて行って講座を開催する方が良かったのではないか。

また、NESTEP を知らない学生も多くいると考えられるため、学生とのコミュニケーションを図りつつ、講座に参加してもらう仕組み、きっかけづくりが必要である。

2) フェアトレード

< プロジェクト概要 >

タイ山岳民族の手工芸品ほか、全国の国際協力団体の支援グッズやフェアトレード製品を取り寄せてイベント等で販売する。身近にできる国際協力の一つとしてフェアトレードを推進するためのプロジェクト

< 実施計画 >

今年度の販売予定は3回。今年度は在庫や販売の予定も少ないため、小規模にする予定。また、引き続き新たな商品や取引団体をリサーチし、来年度の販売と収益拡大につなげる。

< 実施報告 >

- ① 天神中央公園グローバルヴィレッジ【2016年4月30日および5月1日】
- ② Kuriyaの五月祭【2016年5月28日】
- ③ ながさき愛の映画祭【2016年10月22～28日】
- ④ フェアトレードマーケット【2017年1月15日】
- ⑤ ハッピータイムマーケット【2017年2月5日】

上記実施のうち、3件はFUJITA COFFEE brothersとの共同出店であった。

やはり、雑貨だけでは売上げが少ないのが現状で、コラボ出店することで、出店料の負担減や売り場づくりにつながるので、今後も共同出店を進めていきたい。

3) 海外ボランティア

< プロジェクト概要 >

毎年2月頃にタイの山岳民族・カレン族の村にホームステイし、村の子どもたちとの交流や、トイレ建設などのボランティアを行っている。

カレン族の文化・生活に触れ、活動する中で自分の役割に気付くきっかけになればと考えている。この活動は、直接現地への支援が第一ではなく参加者の意識や視野形成に重点を置き、将来にわたっての「国際協力に携わる人材」「地球市民」の育成に重点を置いている。

< 実施計画 >

2017年2月末に2週間を予定。前回プロジェクト時に現地コーディネーターと相談し候補地を選定中。活動内容は教会建設と交流を予定。また、過去に活動した村の視察も予定しており、帰国後の報告会やバザーの実施も予定している。

< 実施報告 >

本年度は、参加者が集まらずに中止となった。年々参加者が減っているため、企画や告知の仕方、新たなボランティア先も含め検討していく必要がある。

4) ワークキャンプ

< プロジェクト概要 >

国際協力やボランティアに関わっている、或は関心のある学生・社会人を対象にした国際協力合宿（ワークキャンプ）

様々なワークショップを通して、個人・団体の活動を見つめなおし、学生団体の活動のレベルアップと活性化を図るとともに、学生同士の交流を深める。

< 実施計画 >

9月中旬の3日間で実施。今回は長崎市内で日帰り開催予定。部分参加を可能にし、参加人数を増やす。また、アクションプランとアクティビティを充実させる。

< 実施報告 >

参加者の申込がなく、台風接近による悪天候もあり、中止となった。

ワークキャンプの魅力発信不足や日程を9月中旬に伸ばしたことで、帰省している学生が多く、参加できる学生がいなかったと考えられる。

準備・告知に至るまでインターンの学生と一緒に準備してきたが、実施できなかったのが非常に残念であった。

この点を踏まえ、もっと学生とのコミュニケーションをはかり、NESTEPと学生との距離を近づけ、信頼関係や親近感をきづくことが必要である。

5) ネパール マイファミリーホーム支援プロジェクト

< プロジェクト概要 >

2015年5月に発生した「ネパール大地震」の復興支援のおよび、現地の孤児院「マイ・ファミリーホーム」を通して現地の子どもたちや被災した施設を支援するプロジェクト

※本年度より「緊急プロジェクト」より変更・昇格

< 実施計画 >

ネパール現地の孤児院「マイ・ファミリーホーム」への支援と交流のための企画準備を開始。引き続き、支援物資・義援金の受付を行う予定。

< 実施報告 >

支援物資・義援金の受付実績はゼロであった（NESTEP 窓口分）

計画実施の先行きが不透明なため、現在廃止を検討中している。

6) アジア・フェアトレード大学推進プロジェクト

< プロジェクト概要 >

アジア特に日本国内におけるフェアトレード大学の推進と認定を目指す学生団体のネットワーク形成を目的としたプロジェクト

< 実施計画 >

今年度からの新規プロジェクト（5カ年計画）で、2014年3月27日に開催された「フェアトレードタウン国際会議」の「国際学生フォーラム」（NESTEPも協賛）で採択された学生宣言に基づき、国際学生フォーラムの後継機関として、アジア（特に日本国内）におけるフェアトレード大学運動の推進を行うプロジェクト。

学生宣言によると、

1. フェアトレード大学をテーマとした学生による全国規模の会議を毎年開く
2. フェアトレード大学の推進を目的としたイベントを毎年行う
3. アジア地域の学生との連携・情報交換・交流を活発に行う

となっていることから、これらを実行し推進していく機関が必要である。
今後はフェアトレード大学を目指す学生団体と連携しながら運動を活発化させていく。

具体的な年計画は以下のとおり。

- ①調査研究（FTUを目指している大学および学生団体の調査等）
- ②推進大学のネットワーク形成
- ③推進運動（会議・キャンペーン）
- ④推進運動（会議・キャンペーン）
- ⑤認定後後のフォロー計画策定

< 実施報告 >

インターンシップの学生に課題として、全国のフェアトレード団体・サークルの調査を依頼。その結果、神戸国際大学、熊本学園大学、佐賀大学のフェアトレードサークルがフェアトレード大学を目指して活動していることが分かった。

今後はこれらの団体・代表に連絡を取りネットワークを形成し、フェアトレード大学運動の活性化に貢献したい。

なお、**全国のフェアトレード団体は増加や変化が著しいため、毎年の調査が必要**となることが予想されるため、継続的に調査していきたい。

7) Youth NESTEP

< プロジェクト概要 >

国際協力やボランティア活動（サークル・学生団体）のない大学および個人レベルでの活動が見られる大学にサークルを設立・支援を行うプロジェクト。

長崎市内にある7つの大学・短大において国際協力・ボランティアの機会を創出し、将来的な「国際協力に携わる人材の育成」および「地球市民の育成」につなげる。

< 実施計画 >

今年度からの新規プロジェクト（3カ年計画）で、初年度は、長崎市内にある7つの大学・短大において、どれくらいの学生が個人レベルで活動しているか。また国際協力やボランティアに関心のある大学生がどれくらいいるのかを調査し、設立支援と支援の方法、設立後のサポート体制について検証していく。

< 実施報告 >

10月14日に長崎県立大学の学生がNESTEPを訪問。

現在、長崎県立大学では長濱ゼミにおいてフェアトレードに取り組んでおり、フェアトレードシティ熊本への訪問など積極的に活動している。

このほど4年生メンバーが相談に訪れ、サークル化を検討しているとのこと。ゼミでの活動をさらに広げたい考えだ。具体的には学園祭での販売やカフェといった活動を検討しているという。Youth NESTEPとしての活動を打診したが実現には至っていない。

8) 緊急プロジェクト

< プロジェクト概要 >

国内外で大規模な災害等が発生した場合に情報収集を行い、募金や支援先のリンクまとめなどの広報と現地の信頼できるNGO等を探し、緊急支援・復興支援へのサポートを国内で実施していく。

海外では現地NGO、国内では災害ボランティア団体と連携して、ボランティア派遣やその他の支援を行う。

< 実施計画 >

2016年5月に発生した「熊本地震」については調整中

< 実施報告 >

2016年4月14日および16日に発生した熊本地震について、学生有志（長崎大学 国際学生NGO BOAT、ウエスレヤン大学サンファンデック）により浜町アーケードにて募金活動を実施。34,375円が集まり、熊本市へ送金した。

5. 活動ハイライト

- 4月23日 国際協力学生交流会 アジアカフェ 開催
同日 熊本地震 緊急支援 街頭募金 実施



- 4月31日 天神中央公園グローバルビレッジ フェアトレード出店



- 5月1日 天神中央公園グローバルビレッジ フェアトレード出店
5月14日 『ザ・トゥルーコスト』上映会@佐世保 サポート
5月21日 メイフェスタ 参加(代表)
5月28日 五月祭 フェアトレード出店



- 6月19日 運営委員会
- 6月25日 3周年記念パーティー（豪雨のため中止）
- 7月27日 NGO 福岡ネットワーク 加盟ヒアリング
- 8月7日 『ザ・トゥルーコスト』上映会@長崎 参加（代表）
- 8月30日 インターンシップ 受け入れ 開始
- 9月17日 インターンシップ 修了
- 9月18-20日 第2回 国際協力・ボランティアワークキャンプ（台風のため中止）
- 10月14日 長崎県立大学の学生 NESTEP 訪問
- 10月22-28日 ながさき・愛の映画祭 フェアトレード出店



- 11月5日 長崎シティ FM ラジオ出演（代表）
- 11月22日 ロシナンテス川原尚行氏講演会 協力



- 1月15日 県国際交流協会フェアトレードマーケット フェアトレード出店
- 2月22日 長崎新聞掲載（代表）
- 3月9日 NGO 福岡ネットワーク NESTEP 訪問

6. 会計報告

2016年度会計報告書に関しては別紙